

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

カイハラ産業株式会社 吉舎工場

(2) 事業所の所在地

広島県 三次市 吉舎町 矢井 10428-1

(3) 業種

1121 綿・スフ織物業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成__21__年度を基準年度とし、平成__26__年度から平成__30__年度までの__5__年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成21年度	平成30年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成 年度
エネルギー 起源CO2	21,502	20,800 (3.3)	28,560 (33.0)	26,582 (24.0)	22,100 (2.8)	23,929 (11.3)	100.0
非エネルギー 起源CO2	75	73 (2.7)	79 (5.0)	53 29.0	82 (9.8)	53 29.3	100.0
メタン	41	40 (3.2)	36 12.0	44 (7.0)	35 16.4	19 53.0	100.0
一酸化二窒素	2	2 33.3	2 (6.0)	2 (19.0)	2 (11.2)	2 (13.7)	100.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	21,620	(100.0)	28,676 (33.0)	26,681 (23.0)	22,219 (2.8)	24,003 (11.0)	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産量(百万m²)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成21年度	平成 年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成 年度
エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位 (原油換算 kl)	181	-100.0	198.6 -10.0	214.1 -18.6	205.6 -13.8	193.6 -7.2	100.0
実績に対する 自己評価							

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気の使用量を昨対比 3.0%削減	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ機器の使用を推進する 高効率照明器具への更新 高効率モーターへの更新
2	燃料使用量の削減	LNGの使用量を昨年対比 2.0%削減	<ul style="list-style-type: none"> 燃焼調整によるボイラー効率の向上 負荷側圧力の調整による蒸気使用量削減 蒸気漏れ、保温の剥離の修繕
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	産業廃棄物の削減	<ul style="list-style-type: none"> 再資源化率の向上 昨対比 2.0%	<ul style="list-style-type: none"> 自社焼却物の削減（再利用） 排水処理余剰汚泥の減容化
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。